

にちみょうしようにんごしよ

日妙聖人御書

御書新版 1681頁 6行目〜8行目
御書全集 1215頁 18行目〜1216頁 1行目

我ら具縛の凡夫、たちまちに教主釈

尊と功德ひとし。彼の功德を全体うけ

とる故なり。経に云わく「我がごとく

等しくして異なることなし」等云々。

法華経を心得る者は釈尊と齊等なりと

申す文なり。

語句

具縛の凡夫

煩惱や生死の苦しみに縛られた人間のこと。

齊等

「齊」も「等」も、ともに「ひとしい」という意味。

通解

私たちが煩惱に縛られた凡夫が、たちまちに教主釈尊と等しい功德を具えるのである。それは釈尊の無量の功德を全て受け取るからである。経文には「一切の衆生を自分と同じ仏にして、異なることがないようにしたい」等とある。法華経を心得る者は、釈尊と全て等しいという文である。